

杉並区まちづくり基本方針
(都市計画マスタープラン)
改定(案)

あらまし(概要)

平成25年5月
杉並区

第1 改定の背景・目的

杉並区まちづくり基本方針は、平成9年に新規制定され、その後、平成14年の改定後、10年が経過しました。

一方で、区においては、東日本大震災など区政を取り巻く社会経済状況が大きく変化する中で、杉並区が質の高い住宅都市としてさらに発展するために、区民と区が共有する将来像を改めて定めるため、平成24年3月、「杉並区基本構想（10年ビジョン）」を策定しました。

基本構想では、「支えあい共につくる安全で活力あるみどりの住宅都市杉並」を、私たちが目指す10年後（平成33年度）の区の将来像として定め、将来像を実現するために5つの目標を定めるとともに、その実現の道筋として「杉並区総合計画（10年プラン）」と「杉並区実行計画（3年プログラム）」を策定しました。

今回は、こうした動きを踏まえ、まちづくりに関する目標及びその実現のための基本的な方針として、まちづくり基本方針（都市計画マスタープラン）の改定を行うものです。

今後も引き続き、区民の皆さまとともに諸施策を推進し、誰もが安全・安心に暮らせる、質の高い住宅都市の実現を目指して全力で取り組んでまいります。

第2 改定の基本的な視点

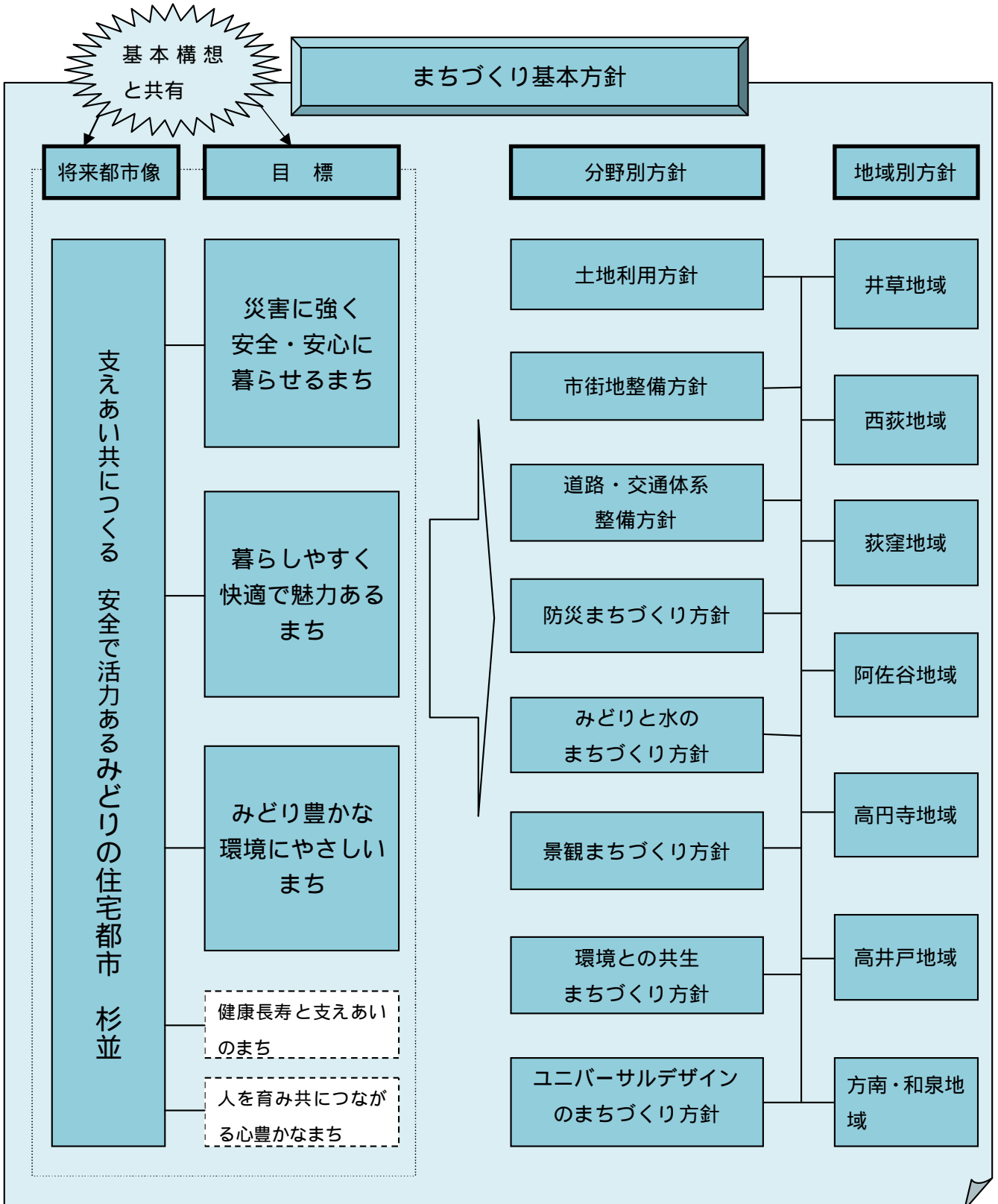
今回の改定に当たっては、以下の点を基本的視点としました。

- (1) 東日本大震災の教訓を踏まえ、「災害に強いまちづくり」を第一の目標にすること。
- (2) 基本構想が示す杉並の将来像の実現に向けた「都市整備分野の総合指針」として、引き続き質の高い住宅都市を目指すこと。
- (3) 20年後の未来を視野に入れながらも、基本構想と同様に平成33年度を目標年次とした基本方針とすること
- (4) まちづくりの考え方を示して、基本構想等と、関連計画や毎年度の事務事業・予算への橋渡しをする基本方針とすること。
- (5) 新たな基本構想の策定や前回改正から10年経過したことに伴い、必要な修正を行うこと。

第3 計画の骨子

目指す将来都市像を基本構想と同じ「支えあい共につくる安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並」とし、3つの目標を基本構想と共有したうえで、8つの分野別方針、7つの地域別方針を定めました。

(1) まちづくり基本方針の体系図



(2) 分野別方針のあらまし

土地利用方針

地区特性に応じた土地利用の推進

- ・住宅都市としての歴史的経緯を踏まえ、住宅地や商業地などの地区特性に応じた土地利用推進

みどりの保全・育成を基調とした土地利用の推進

- ・みどりの保全・育成を基調とした土地利用を積極的に推進

戦略的・計画的な土地利用の推進

- ・良好な住環境の保全・形成のため、敷地細分化対策の強化や建物の絶対高さ制限の導入を検討
- ・地籍調査の推進

市街地整備方針

地区特性に応じた市街地整備の推進

- ・道路基盤や建物の状況など、地区ごとの特性を踏まえた市街地整備の推進

多心型拠点の形成

- ・交通結節点である駅周辺を核として、地域毎の様々な魅力が連携しあう多心型拠点の形成
- ・ハード施策とソフト施策のより一層の連動により、地域経済や地域社会の活性化に資するまちづくりの推進

住宅施策・住環境整備の推進

- ・住宅マスタープランにより、体系的・総合的な住宅施策を推進

道路・交通体系整備方針

体系的な道路網の整備

- ・国・都等の関係者と協議・調整・役割分担のうえ、都市計画道路等の整備を推進
- ・防災都市基盤の強化等の観点から、補助 61 号線（井の頭通り～環七）132 号線（青梅街道～神明通り）、133 号線（杉並区役所～五日市街道）、216 号線（放射 5 号線～(仮称)都立高井戸公園）、221 号線（環状七号線～中野区境）、227 号線（高円寺駅～早稲田通り）、東鉄 10 付 6 号線及び東鉄 10 付 9 号線（都市高速鉄道（京王線）の連続立体交差化事業に伴う付属街路）の計 8 路線を重点路線と位置付け、優先的に整備を促進
- ・震災火災時の避難場所等へのアクセス確保のため、補助 63 号線（方南通り～済美山運動広場）、128 号線（方南通り～和田堀公園）などの都市計画道路の一部について、整備等を検討
- ・狭あい道路の拡幅整備を推進
- ・これまでの整備手法に加えて、都市計画道路のうち効用の高い部分的箇所を整備する新たな手法を検討
- ・災害時の救援活動などを支える広域的交通網の機能強化のため、中央道高井戸 IC オンランプの扱いを早期に検討開始するよう要望

安全で快適な歩行者空間の確保

- ・多様な手法により歩行者優先の道づくりを推進

安全で快適な自転車利用の推進

- ・自転車駐車場の整備や自転車利用ルールの普及等により、安全で快適な自転車利用を推進
- 公共交通の充実等
- ・鉄道と道路の連続立体交差化を推進

防災まちづくり方針

震災に強いまちづくりの推進

- ・南北方向の都市計画道路や都市計画公園などの防災都市基盤整備を促進
- ・荻窪から高円寺にかけての中央線周辺及び環7周辺など、道路基盤が未整備で木造建物が密集する地域について、建物の耐震化・不燃化や狭あい道路の拡幅などを優先的に進める

総合的な治水対策の推進

- ・河川整備や雨水流出抑制対策を強化

地域の防災力の強化

- ・区立施設の機能や自主的な防災活動の強化などにより、地域の防災力の強化を図る
- ・自治体スクラム支援により南相馬市への支援を進めるとともに、他自治体との災害時相互援助の仕組みを充実

みどりと水のまちづくり方針

公共緑地空間の整備推進

- ・(仮称)下高井戸公園、(仮称)都立高井戸公園などのみどりの拠点整備を推進

民有地などのまとまったみどりの保全

- ・(仮称)緑地保全計画の策定による屋敷林・農地の保全対策の強化、市民緑地制度などの活用による、まとまった民有地のみどりの保全
- ・(仮称)農地活用懇談会の意見を聞いて保全策を検討

街なみのみどりの保護と充実

- ・住宅地・商業地など場所の状況に応じた緑化を進める

水と水辺のある環境づくり

- ・「水鳥の棲む水辺創出事業」などのシンボリック取組みを区民との協働で進める
- ・水と親しめる環境づくり

みどりと水のネットワーク形成

- ・みどりの拠点をみどりのベルトや河川で結びネットワーク化を形成

景観まちづくり方針

景観法を活用した景観まちづくりの推進

- ・河川沿いなどの景観形成重点地区の指定や景観協定の活用による景観形成

景観施策の展開による杉並らしい景観の醸成

- ・景観形成指針などの区独自の景観施策の展開により杉並らしい景観形成を進める

景観モデル地区等における景観形成の推進

- ・中杉通り、大田黒公園周辺地区などの景観モデル地区において、先導的、計画的な景観形成を推進
- ・(仮称)荻外荘公園について、多くの人が集い、賑わい、安らぎ、地域経済や地域社会が活性化していくことを目指した整備計画の検討

環境との共生まちづくり方針

低炭素まちづくりの推進による環境負荷の軽減

- ・都市機能の集約化や交通体系の改善（都市計画道路整備・鉄道連続立体化・自転車利用の推進など）、再生可能エネルギーを利用した住宅都市づくりなどにより低炭素まちづくりを推進し、環境負荷の低減を図る

環境施策の推進

- ・杉並区環境基本計画に基づき環境施策を体系的・計画的に推進

ユニバーサルデザインのまちづくり方針

誰もが移動しやすく、暮らしやすいまちづくりの推進

- ・ユニバーサルデザインの考え方に基づき、年齢、障害の有無、国籍、性別などの違いを超えて、すべての人が移動しやすく暮らしやすいまちづくりを推進
- ・駅施設や道路・公園などの公共施設、建物などのバリアフリー化
- ・「心のバリアフリー」を推進

重点整備地区等におけるバリアフリー化の推進

- ・「バリアフリー基本構想」に基づき、バリアフリー化を推進していく必要性が高い地区を「重点地区」として指定し、地区内の駅施設や公共施設、一定の建築物などのバリアフリー化を推進

(3) 地域別方針のあらまし

井草地域
良好な街区基盤を活かした低密度住宅の保全 西武新宿線連続立体交差化と多心型拠点の形成 環状八号線等の沿道型土地利用の推進 旧井草川を軸としたみどりと水のネットワーク形成
西荻地域
良好な街区基盤を生かした低密度住宅地の保全 西荻窪駅周辺の地域生活拠点の充実と都市計画道路の整備促進 青梅街道等の沿道型土地利用の推進 善福寺公園・善福寺川周辺のみどりと水の空間軸の形成
荻窪地域
荻窪駅周辺の都市活性化拠点の形成 良好な街区基盤を活かした低密度住宅地の保全 環状八号線等の沿道型土地利用の推進 善福寺川流域のみどりと水の空間軸の形成
阿佐谷地域
総合的な防災まちづくりの推進（耐震化・不燃化、狭あい道路の拡幅など） 都市計画道路などの基盤整備と魅力的な沿道景観の形成 阿佐ヶ谷駅・南阿佐ヶ谷駅周辺の一体的な生活拠点の充実 和田堀公園周辺「みどりの拠点」、善福寺川流域「みどりと水の空間軸」の形成
高円寺地域
総合的な防災まちづくりの推進（耐震化・不燃化、狭あい道路の拡幅など） 高円寺駅周辺の地域生活拠点の形成 新高円寺駅周辺、東高円寺駅周辺、中野富士見町駅周辺の身近な生活拠点の形成 歴史的資源を活かしたみどりの核づくりと歩行者空間のネットワーク形成
高井戸地域
都市計画道路の整備と沿道景観の形成 井の頭線各駅周辺の多心型拠点の形成 京王線連続立体交差化の推進と駅周辺まちづくり （仮称）都立高井戸公園の整備促進と「みどりの拠点」の形成 神田川流域「みどりと水の空間軸」の形成 農のある風景の保全とみどりの核づくり
方南・和泉地域
落ち着いたある住宅地の保全・形成 方南町駅・西永福駅・永福町駅・中野富士見町駅周辺の多心型拠点の形成 鉄道連続立体交差化と下高井戸駅周辺のまちづくり 京王線連続立体交差化の推進と駅周辺まちづくり 和田堀公園周辺、善福寺川流域、（仮称）下高井戸公園周辺の「みどりの拠点」「みどりと水の空間軸」の形成

支えあい共につくる
安全で活力ある
みどりの住宅都市
杉 並